柏崎市ゼロカーボンシティ推進ロードマップ

【最終目標】

脱炭素を達成し、 持続可能な力強い地域社会の実現

温室効果ガス排出量実質ゼロの社会(脱炭素社会) を目指す

⇒わたしたちの周りにある環境を守り、 将来へ繋ぐことができる!

> 策定の背景・ 動向は・・

【方針の作成背景】

柏崎市では、【最終目標】を達成するために令和 2(2020)年 12 月 に、国の目標である令和32(2050)年を前倒しして「2035年脱炭素 社会の実現に向けた挑戦」を表明しました。

「エネルギーのまち」という柏崎市の強みを生かし、再エネ・次世 代エネルギーの利活用・産業化や地域資源を活用した施策の強化を

本推進ロードマップは、持続可能なまちづくりに向けた道筋を示 したものです。

地域課題解決 に繋がる

【課題解決】

◎気候変動問題から身を守るためのまちづくり

- ・災害時のエネルギー電源の確保
- ・自然災害による災害廃棄物処理量の増加
- ・市民、事業者、関係団体等との危機意識の共有

◎再エネ等の導入促進、省エネ・省資源化対策

- ・自家発電消費といったエネルギー転換
- 自動車、バス、バイク等の電動化
- 森林整備の促進

柏崎市は、

市民に愛され、

市民が誇りを持てる

を目指します

脱炭素・エネルギーのまち

産業部! 309 千

民生 (家庭 千 業務) 部門

203 運輸部門 8

エネ 供給 ル ギ 転換 ●柏崎あい・あーるエナジー(株)の事業拡大

⇒将来的には、洋上風力発電を活用した首都圏への電力供給

●ZEB 化の促進

●事業者によるCО₂削減・エネルギー転換・電力の地産地消



●脱炭素先行地域の取組開始

⇒地元の協力も受けながら区域内温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す。実質ゼロ を達成した地域から市内他地域へ脱炭素ドミノを起こす。

- ●公共施設の電気・ガスの脱炭素化
- ●遊休地の有効活用・森林整備



- ●新築住宅 ZEH化・既存住宅への再エネ設備設置の促進
- 公共施設への再エネ導入による災害時のエネルギー拠点化



排出ガ

●自動車・バス・バイク等のEV・FCV化(公用車:100%EV・FCV化)

- ●公共交通の利用促進
- ●EV・FCVステーションの増設





: 再エネ導入量+CO2吸収量

: 温室効果ガス排出量

●新技術の開発支援(水素発電等)

●地産地消の再エネ導入拡大

※その他 19 千 t- CO₂

導入可能性を研究する

柏崎市に適合する新たなエネルギーの